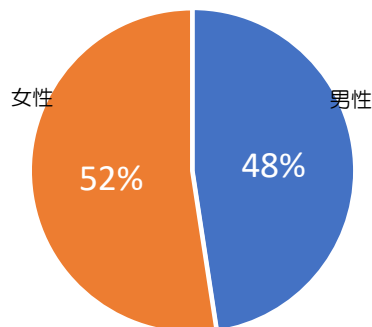


将来の住まいに関するアンケート調査（木材の利用促進）

調査目的	木材の価格高騰・需給逼迫を鑑み、長崎県における良質な住宅供給の促進・安定供給体制を構築するため、将来の住まいや木造住宅に関する関心度についてのアンケートを実施するものです。
調査期間	令和4年8月2日から令和4年8月19日までの期間で実施
調査対象	ながさき県政WEBアンケート全モニター（338名）
回答状況	回答者290名（回答率86.8%）
調査担当課	土木部 住宅課

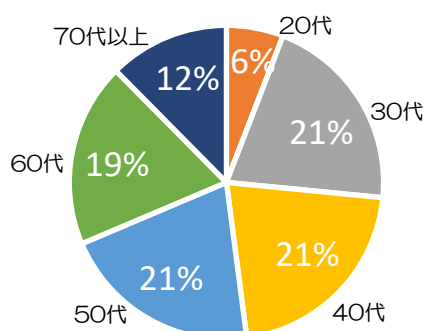
回答者の属性(性別)

区分	人数	構成比
男性	138	48%
女性	152	52%
合計	290	100%



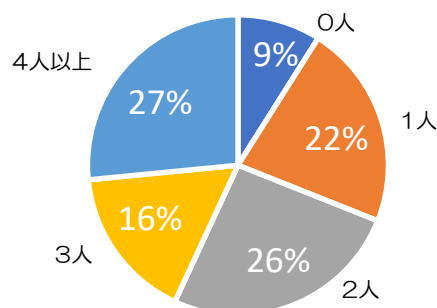
回答者の属性(年齢)

区分	人数	構成比
10代	0	0%
20代	17	6%
30代	60	21%
40代	62	21%
50代	60	21%
60代	55	19%
70代以上	36	12%
合計	290	100%



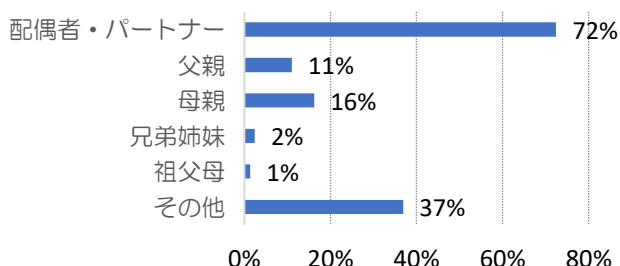
回答者の属性(同居する家族の人数)

区分	人数	構成比
0人	26	9%
1人	64	22%
2人	75	26%
3人	48	17%
4人以上	77	27%
合計	290	100%



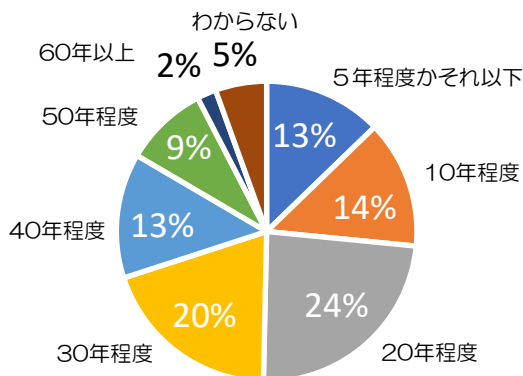
回答者の属性(同居家族)

区分	人数	構成比
一人暮らし	33	11%
配偶者・パートナー	210	72%
父親	32	11%
母親	47	16%
兄弟姉妹	7	2%
祖父母	4	1%
その他	107	37%



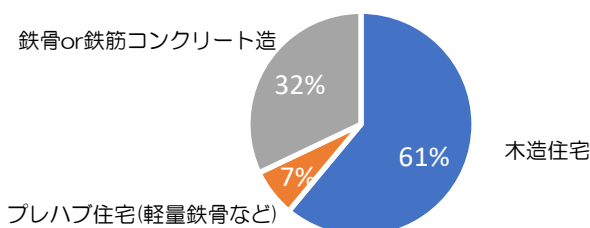
回答者の属性(ご自宅の築年数)

区分	人数	構成比
5年程度かそれ以下	37	13%
10年程度	40	14%
20年程度	69	24%
30年程度	57	20%
40年程度	39	13%
50年程度	26	9%
60年以上	6	2%
わからない	16	6%
合計	290	100%



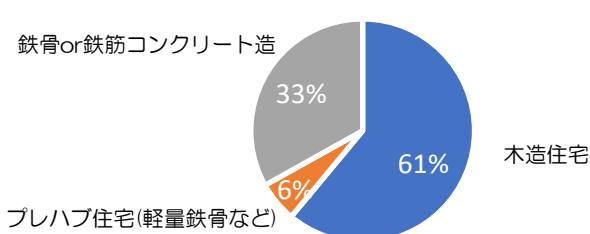
問1-1:現状のお住まいは、右記のうちどれにあたりますか。(構造)

区分	人数	構成比
木造住宅	177	61%
プレハブ住宅(軽量鉄骨など)	20	7%
鉄骨or鉄筋コンクリート造	93	32%
合計	290	100%



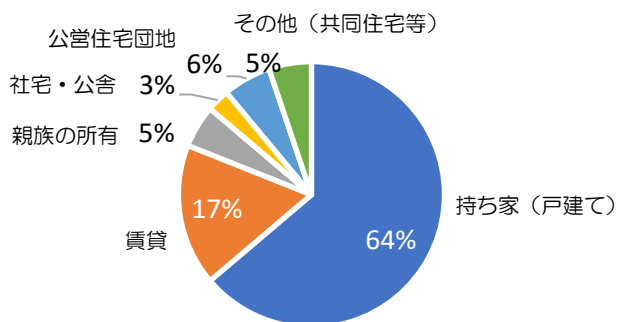
問2-1:将来(3年後程度)、どんな家に住みたいですか。(構造)

区分	人数	構成比
木造住宅	177	61%
プレハブ住宅(軽量鉄骨など)	17	6%
鉄骨or鉄筋コンクリート造	96	33%
合計	290	100%



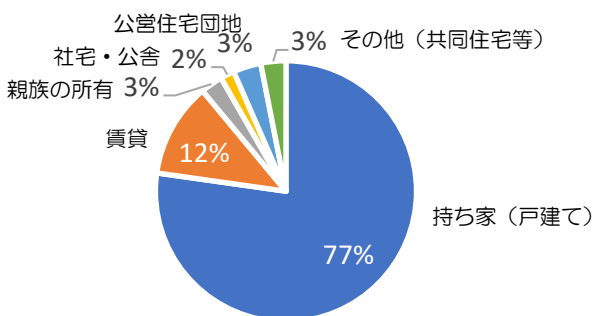
問1-2:現状のお住まいは、右記のうちどれにあたりますか。(所有の形態)

区分	人数	構成比
持ち家(戸建て)	185	64%
賃貸	50	17%
親族の所有	15	5%
社宅・公舎	8	3%
公営住宅団地	17	6%
その他(共同住宅等)	15	5%
合計	290	100%



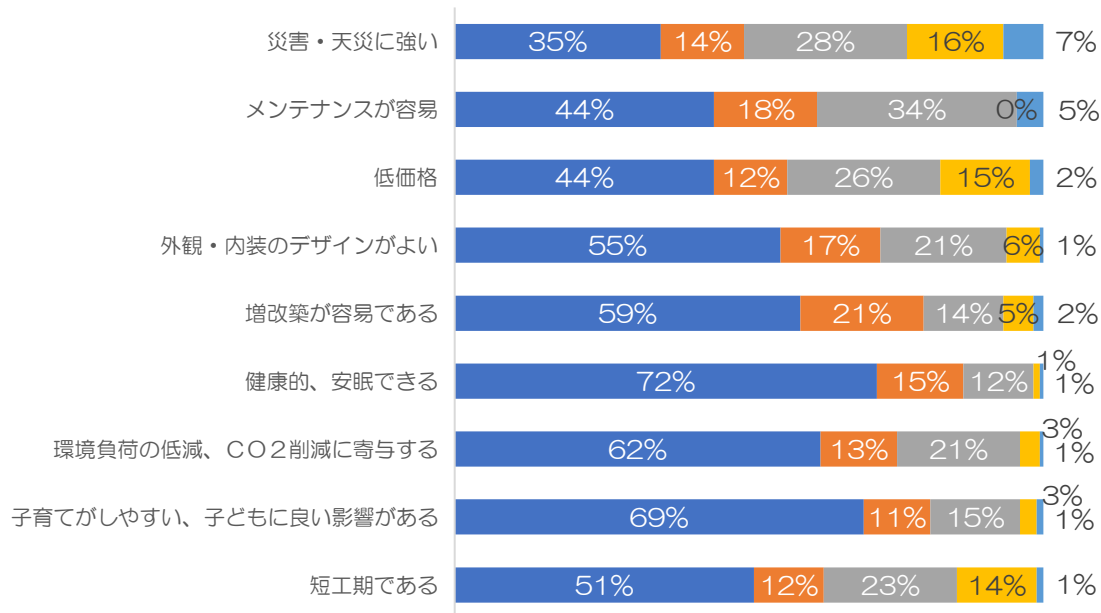
問2-2:将来(3年後程度)、どんな家に住みたいですか。(所有の形態)

区分	人数	構成比
持ち家(戸建て)	224	77%
賃貸	34	12%
親族の所有	8	3%
社宅・公舎	5	2%
公営住宅団地	10	3%
その他(共同住宅等)	9	3%
合計	290	100%



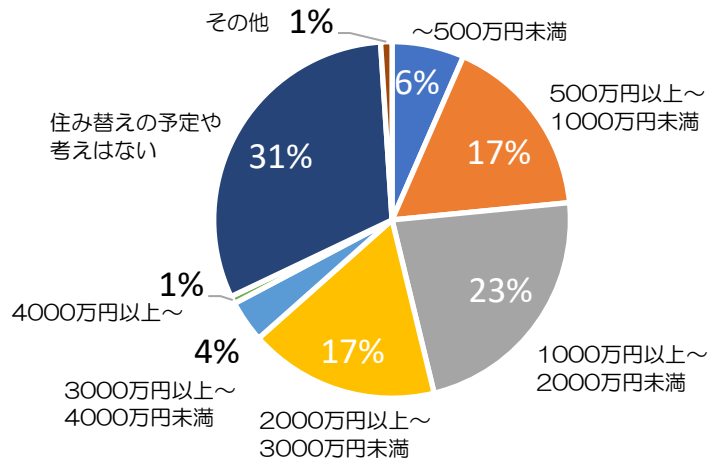
問3:問2-1で「木造住宅」と回答した方が対象です。もっとも当てはまる選択肢を選んでください。

質問	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	合計
災害・天災に強い	90	21	40	24	2	177
メンテナンスが容易	123	20	27	5	2	177
低価格	110	23	37	6	1	177
外観・内装のデザインがよい	127	26	21	2	1	177
増改築が容易である	104	37	24	9	3	177
健康的、安眠できる	98	30	38	10	1	177
環境負荷の低減、CO2削減に寄与する	78	22	46	27	4	177
子育てがしやすい、子どもに良い影響がある	78	31	60	0	8	177
短工期である	62	25	49	29	12	177



問4:もし住み替えるとしたときの予算規模(建物のみ)を教えてください。

区分	人数	構成比
~500万円未満	19	7%
500万円以上~1000万円未満	49	17%
1000万円以上~2000万円未満	66	23%
2000万円以上~3000万円未満	50	17%
3000万円以上~4000万円未満	11	4%
4000万円以上~	2	1%
住み替えの予定や考えはない	90	31%
その他 ※	3	1%
合計	290	100%



※「その他」の自由記載

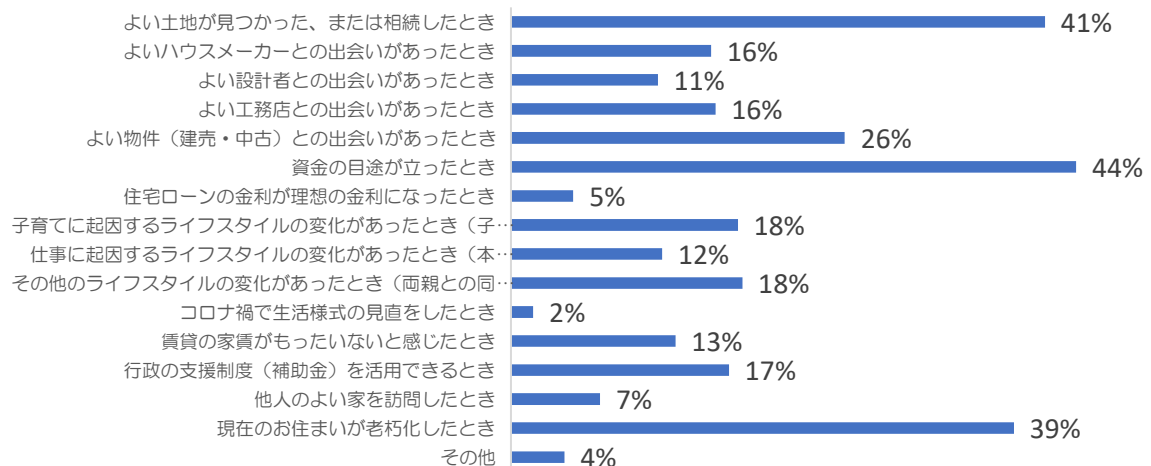
・変わるとしても賃貸物件になると思うので、回答が難しい

問5:住宅を建てる、または購入する場合の決め手となるポイントを教えてください。

項目	人数	構成比
よい土地が見つかった、または相続したとき	120	41%
よいハウスメーカーとの出会いがあったとき	45	16%
よい設計者との出会いがあったとき	33	11%
よい工務店との出会いがあったとき	46	16%
よい物件（建売・中古）との出会いがあったとき	75	26%
資金の用途が立ったとき	127	44%
住宅ローンの金利が理想の金利になったとき	14	5%
子育てに起因するライフスタイルの変化があったとき（子どもの成長、巣立ちなど）	51	18%
仕事に起因するライフスタイルの変化があったとき（本人・配偶者の転勤など）	34	12%
その他のライフスタイルの変化があったとき（両親との同居など）	52	18%
コロナ禍で生活様式の見直しをしたとき	5	2%
賃貸の家賃がもったいないと感じたとき	37	13%
行政の支援制度（補助金）を活用できるとき	49	17%
他人のよい家を訪問したとき	20	7%
現在のお住まいが老朽化したとき	113	39%
その他 ※	12	4%

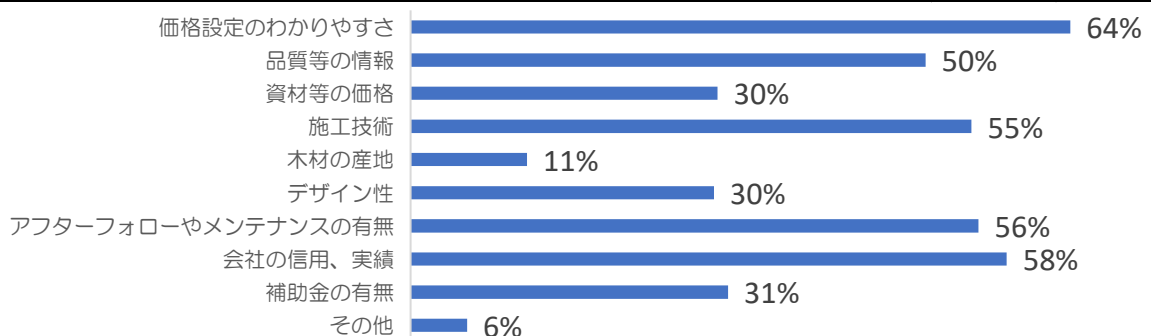
※「その他」の自由記載

- ・高額宝くじに当選したとき
- ・火災保険の負担感
- ・災害に強い
- ・町内活動が無いところで隣近所との付き合いが無いところ
- ・災害危険区域に入ってしまったとき



問6:地元の工務店で住宅を建てる、または購入する場合に気になることを教えてください。

項目	人数	構成比
価格設定のわかりやすさ	120	41%
品質等の情報	45	16%
資材等の価格	33	11%
施工技術	46	16%
木材の産地	75	26%
デザイン性	127	44%
アフターフォローやメンテナンスの有無	14	5%
会社の信用、実績	51	18%
その他	12	4%

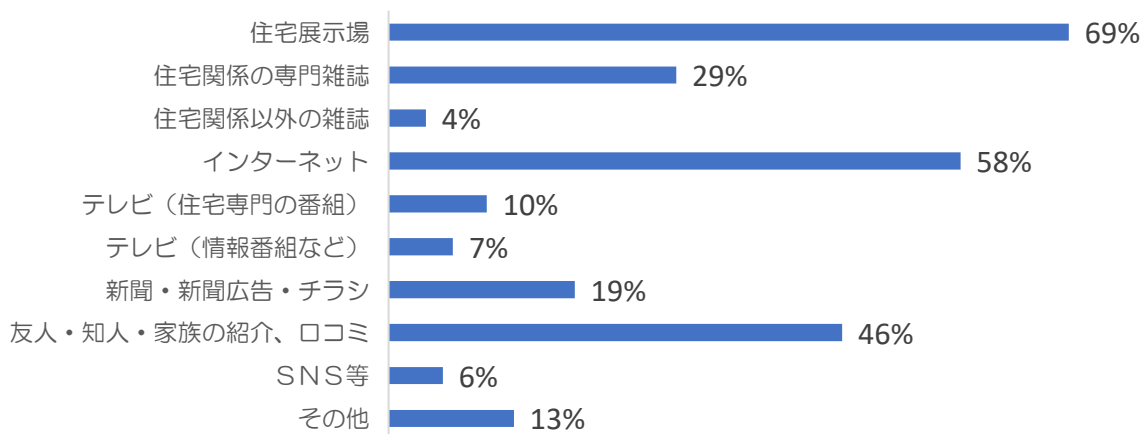


問7:もしあなたがご自宅を新築する場合、情報はどの様にして入手しますか。

項目	人数	構成比
住宅展示場	201	69%
住宅関係の専門雑誌	85	29%
住宅関係以外の雑誌	11	4%
インターネット	169	58%
テレビ（住宅専門の番組）	29	10%
テレビ（情報番組など）	19	7%
新聞・新聞広告・チラシ	55	19%
友人・知人・家族の紹介、口コミ	134	46%
SNS等	16	6%
その他 ※	37	13%

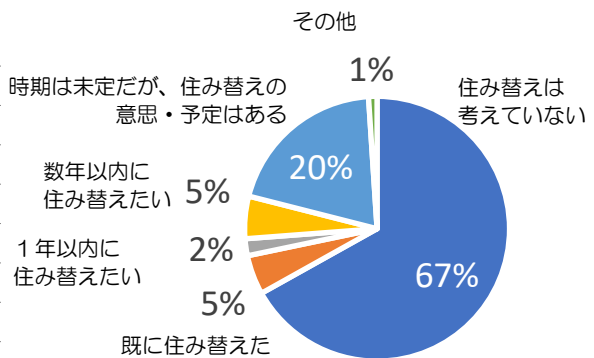
※「その他」の自由記載

- ・工務店、大工
- ・建築会社が作った住宅を見て判断（材料やデザイン、建築の方法など）
- ・仕事関係の付き合い
- ・建築関係の知人。偏った情報にならないよう複数名。



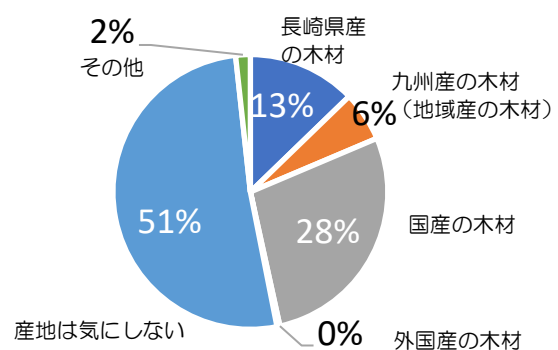
問8:住み替えの予定がありますか。

区分	人数	構成比
住み替えは考えていない	194	67%
既に住み替えた	14	5%
1年以内に住み替えたい	6	2%
数年以内に住み替えたい	15	5%
時期は未定だが、住み替えの意思・予定はある	58	20%
その他	3	1%
合計	290	100%



問9:木造一戸建てを建てる時、優先したい木材の産地があれば教えてください。

区分	人数	構成比
長崎県産の木材	37	13%
九州産の木材（地域産の木材）	17	6%
国産の木材	81	28%
外国産の木材	1	0%
産地は気にしない	149	51%
その他	5	2%
合計	290	100%



※「その他」の自由記載

- ・新月伐採の木材
- ・どの木材がいいかわからない。建てる前にとことん調べて建てる。

問10:(問9で「優先したい木材の産地がある」場合のみ)木造住宅を選択した理由は何ですか。

【自由記述】(表現は一部割愛し、類似する内容は統合しています)

項目	件数	構成比
・ 国産の安心感、安全性	17	18%
・ 地元の木材の方が、その土地の気候、環境に合っている	13	14%
・ 地産地消	11	12%
・ 落ち着く、暖かみがある	9	10%
・ 品質がよい	6	7%
・ 地元の木材をふんだんに使いたい	6	7%
・ 愛着がある	4	4%
・ 健康的	4	4%
・ できる限り長崎の企業を応援したい	3	3%
・ なるべく自国のものを使いたい	2	2%
・ 価格	2	2%
・ 香りがよい	2	2%
・ 耐震性	1	1%
・ 環境への配慮	1	1%
・ 輸入木材などは、シロアリが混入している場合があるので、避けたい	1	1%
・ 外国産はいろいろな薬剤が使われていそうで心配	1	1%
・ 主人の意向	1	1%
・ 修理しやすい	1	1%
・ 賃貸に住んでいる為	1	1%
・ 特に理由はない	6	7%
合計	92	100%

問11:木材の利用が、環境を守る為の様々な取組や消費者の為の取組に役立ちます。

下記の取組のうち、ご存じの項目を教えてください。【複数回答】

項目	人数	構成比
木材の活用は、CO2の固定化によってCO2削減に役立つ	139	48%
環境省のカーボンオフセットという取組を知っている	60	21%
サステナブル(SDGs)という取組を知っている	135	47%
長崎県産木や九州産木(地域産木)を利用する「地産地消」という言葉を知っている	143	49%
木材の「地産地消」は地元の林業や山林の保護につながり、災害予防や環境保護に役立つ事を知っている	106	37%
長崎県産木や九州産木(地域産木)にはトレーサビリティがある事を知っている	19	7%
木材輸入の環境負荷を表す「ウッドマイレージ」という指標を知っている	14	5%

